

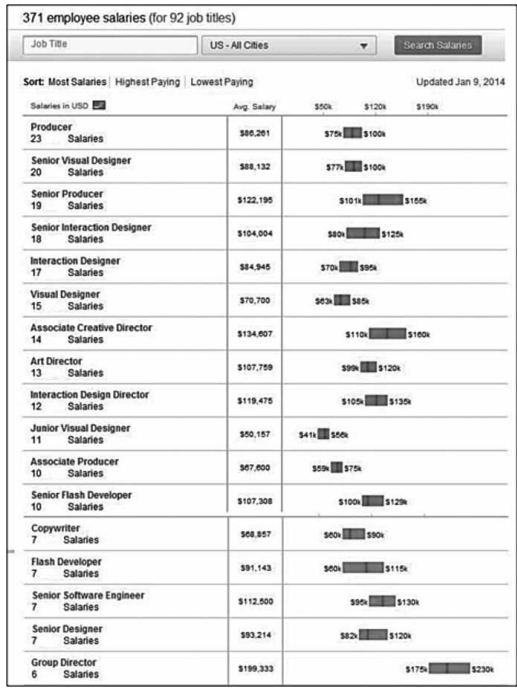
アメリカのエイジジレンミーでのキャリア開発

日本の広告会社では、過酷な勤務環境が自慢だったりするが、実はニューヨークで勢いある大手エイジェンシーにも似た環境はある。日本の読者を励ます訳ではないが、長い勤務時間・朝の遅刻厳禁・打ち合わせが多い・社内政治も「ますりも夜の付き合ひも大事、等よくある事なのだ。それらを前提にした上でニューヨークでのエイジェンシーの仕事から学べる事を三つ紹介。

①自分の価値を産む仕事を理解し、そこに時間を使い、アイデアや企画で利益を稼ぐ事を知っている。契約外の仕事は「いたしません」。企画書提出には課金する。時間とバリエーションの価値が徹底している。タイムシートの管理も厳格だ。顧客もエイジェンシーを選ぶが、エイジェンシーも顧客を選ぶ。これらは、課金システムがフリー制度である効能だろう。社員一人ひとりが自分の時間価値を大事にする。②全体的に年齢層が若い。年齢と肩書に相関関係がない。若い部長、年長のプログラマー、とそれぞれ。

Agency例	役職	年俸 (\$1=100円)
A社 (WPP)	アソシエイト・クリエイティブ・ディレクター	1,150 - 1,550万円
B社 (IPG)	アソシエイト・クリエイティブ・ディレクター	1,100 - 1,600万円
C社 (Omnicom)	アソシエイト・プランニング・ディレクター	1,500 - 2,100万円
D社 (Publicis)	シニア・ストラテジック・プランナー	750 - 1,600万円
E社 (WPP)	アソシエイト・メディア・ディレクター	730 - 1,400万円

Glassdoor.comより。数あるホールディング傘下のエイジェンシーからランダムに選んだ各社。年俸の幅は、サイトにサンプル提供した自己申告の方々の幅



Glassdoor.com 検索画面、B社結果のサンプル

③数カ月〜三年で会社を移動し、自分のキャリアを上げていく。二〜三社の経験を経てキャリアを積んだ人は給与ランクが格段に上がる。Glassdoor.comという仕事情報のサイトがある。多すぎず少なすぎずの例として中間職の年俸を抜き取ってご紹介しよう。自分の時間を大切にしながらキャリアを積む

と、「アソシエイト」「シニア」職ならこんな「アソシエイト」の上職、「ディレクター」職になると更に大きな金額になるのは想像の通り。日本人にもアメリカエイジェンシーでチャレンジする人は存在する。読者のキャリア構成への刺激、管理職の方には給与体系の考察に一助になれば幸い。

R/GAボブ・グリーンバーのグローバルネットワーク

秀でたデジタルエイジェンシー経営者

現存するエイジェンシーCEOで筆者が個人的に尊敬している経営者がボブ・グリーンバーク氏だ。創業者であり、現役クリエイティブ・ディレクター兼CEOを務める。一九七七年創業当時はモーショングラフィックのスタジオとしてスタートして数々の映画タイトルを手がけ、今ではR/GAをインタラクティブエイジェンシーに発展成長させた。ナイキ・フューエルのアカウントを始め常に先端のクリエイティブを發揮しながら、創業三十六年たった今さらに「次世代」エイジェンシー像に作り変える。現在のビュプリシス・オムニコム。

R/GA流、海外拠点の作り方

グループ(POG)の誕生は「二十世紀のやり方そのまま」と疑問視し、オリジナルの自社ネットワークを拡大している。

あなたが米国R/GAの経営者だったとする。もしも海外拠点を増やすなら、どこに設置するだろうか。米国の次はお隣のメキシコ、カナダ、ちょっと飛んでロンドンという具合か。日本のエイジェンシーは日本の外延に設置する傾向があるので、そう考えるのも自然だろう。しかしR/GAの答えは、ロンドンの次にブエノスアイレス(アルゼンチン)、サンパウロ(ブラジル)、シンガポール、ブカレスト(ルーマニア)、ストックホルム(スウェーデン)、シドニー(オーストラリア)、その次に上海に登場予定だ。R/GAは二〇一一年から急激にグローバル(海外)オフィスを設置し始めた。彼らの「ネットワーク」の概念は、近さ・市場規模・言葉等が基準では無い事が伝わるだろう。その土地にR/GAと共感できる人・チームが居た所に投資をした例だ。ちなみにR/GAはIPG傘下にある。

グローバルインテグレーション

「海外オフィスを設置することそのものは目的ではなく、どんなエイジェンシー英知をデジタル上に構築するのがR/GAの起点だ。R/GAは各拠点の多様性を広げ、その機能を一に統合させる事をエイジェンシーのコアにシフトするために海外ネットワークを拡大している。プロトタイプによるビデオカンファレンスを一、二〇〇人の世界中の社員が常時使いこなす。ロンドンのプロデューサーとサンパウロのデザイナーとブカレストのプログラマーが繋がる事ができる。協業経験のない部署を組み合わせ、一つのソリューションも作れる。さらに個人のキャリアアトイも広がる事が期待できるという、新しいエイジェンシーネットワークだ。決してスタッフ機能の拡張ではない。全ての拠点で、グローバル・アカウントに振り回されないようなローカルビジネスをきっちり育んでいる。

R/GAを始めとする、世界のエイジェンシーを観ると、日本のエイジェンシーがデジタル&グローバルの時代をどう伸ばして行くかの示唆が多い。



R/GAホームページの「グローバル・バージョン」説明ビデオより